當流
大全

番匠 [illegible] 八[illegible]
門弟 初代乃[illegible]
法古流 南流 付味[illegible]
はゝ[illegible]
ら[illegible]
通よ入れ門なり[illegible]
[illegible]
初代の人乃[illegible]
事[illegible]
[illegible]
[illegible]

一　おもて付の二ツ
二　付様三句くみ合れのう
三　名八句乃まし
四　當流表句
五　面八句ホ端ウ
六　表月花ウ
七　奇乃ハ
八　四十四句
九　表の詞
十　去端ウ付句
十一　表句切字ハ
十二　和漢乃事　表ウ
十三　人倫分　居不神用ハ歌の色
十四　和分乃詞
十五　四季の詞
十六　百韻懷紙之式
十七　非俗漢和の懷紙式　付懷紙之式
十八　奇仁書法
十九　短冊の式

○そもそもの大全

元禄時代ハ発句和歌
皆日本武家相伝
之人心道とゆしく
ふかくこれ人倫の
世を盛ふかれり中ハ
見とやり風雅
無ちゝ家風
らくやしらぬ
風雅かゝり結乃ごく
又いあまたのり
ども好まし
當流といやもと
小仲された
ヒ付ハ
結八系
発句乃
知れ
ゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

燒ごろうかろ〜きかり又

大搗や小搗の[illegible]こゑ

[illegible]

[illegible]

又切たゝく紙うち附

更科の月ゆへ[illegible]

[illegible]

[illegible]

掘

傘借りまして八ツ時ぬ雨
月夜ゆゑ出雲あるくしく降ること
大方もどりたる心之姿くれぬこと
ゆゑとして帰る人多しとうふ
のてんまくに通ひしうう

才三　分毒と花世のまうり里えて
此才三のしく先謝言なし　後今の
仏ふるしく物四月月夜よりて毎
あひ笠うるも妹の世れ出るもの
てを里を山く笠うるを乗る盗ろう
たる分をそ出る同しまこ文くられて付
才三　ひやくし風邪
み　秋のいろ永代寺場よりちくて
此れ折紙ふう由りとして付ろ才三な
ろく一

若の仏拝ふうろ和とうみ人
付心のうハ之世清きわけうしあた
かしくにむひの里も月少色き来氣

市小家を遊め
市人勢秋行まりて行のし持身ろ
付里の赤なとうふ来赤ざれ付は
ろも折紙の気来行しく市小屋居
赤はハあくねと折紙の里けくきも
此白四里同しまこうくられて然
○書れ折ふねハたくあひくるる
遊して寄居時れ窓近のけくき
あくして里人若移人ふおそれ
此物付心ふて行り折紙とくあれり
此折ふく折紙の気来行れてきの
産屋ろくうり屋すきたのう
付心のくうはよれなくれ
ろ毎年遊乃ありて浮世の遊ぶし
此付れハ四月ふたのやとうくあとうに仏
んくく世と人のよ仏ぶりき人金の
新遊あるて物とあるするまりて太の
とこるこ此あんくうろ仏ふ
行のくれ遊別の物事とくこと一句きあ白
ふうろ気来ふ

雛乃屋のうりて紹つき
おるれかはるるあるいはたさあきひしろ
のなまぶよして付うりぶあるこひ
ふ屋のうわしさに付て紹をうるれ
のまとうはんみとわんしろうさ海せ
浮世物語よ世ぶはまる女なしもを叩
ふたくひみしし

人乃為れ雛ひとにくをな
雲八六と数付をし人の為れまとんわ
ミひけとやくをはぶもなよ雛の
新まて雛といやこにくをといみくせの
字まて付うり

浦野と為乃雛うりうう
人の為れひまとなとにくをふ
てしをたはぶいよるれいてとこ出
と雛ハすのれいんと雛ハのハ
の字まて付うりうしくをもるふ
三季のはしふとを匂の物よ立
やうにつうふ屋しし家みくすあなな
ふよるひてつうを大うこ季紹屋
しひけふとうるのすこ合也
新はもふ雛甲れうしくし
けとふまるうあこ新たて
ふ物をうふ物をうしきなしし古雛
るも雛り時こ心也月をうれハ
くしき武士ふるもしし雛出れ雛
ら屋をうきこと

児やは師や方丈乃掃
也ハ大寺の為ふ義武有みくを
軍おなとし和尚り財ふをむを
を海しふ事なうれ児はは師屋ハ
らうふくふいしそれりべし

三 西八句乃うる

数句のるり費ハ和ふいのうける
とろくくるる紙也とう吟ふ家報
みくをるをしまふかお白潮とお白
と付句こひ句ふ句乃句ふさとあ紙家乱なう

い嵩流の発句なり

四　素龍が[illegible]の発句

旬ぬやうとけの尺[illegible]　一鼎

捨三[illegible]死ぬ捨てる[illegible]　信徳

池の魚乃揺ぬ[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　賀泉

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

ふとるる中なれば初めのうち中の
位もてせるがうしはくてどうん
とも三つの月中でせるはとんぼへり
ぞ白め　古代うり白ぬりこく
かろくとしろる法こはんはおいうすくた
一白をいうくとうしてくりこうあり
とうもろこしくはこくはかいあるくも
六白月　六白月　さはこうみこう細ものたに
面のうちふくられるやうこさ
くとしこべ

七白月　殺白紙　月の常産こ秋乃月ちろべこ
ふ月の常産こ秋乃月ちろべこ
い花の春乃月もろろ　かこと

八白月　七白めこ月ものこ合
春月後ふ月ものもわりこおれ月こ
いふ月ものこくはせめぐ
通八白紙事　無　常　塗物　袖
紙　殺　若月　古人の名　月名字
月字　袖紙　月名字
袖ふ殺白ふ袖紙天殺意

裏十白　十三白　十三白
又十白め殺月秋乃殺の意産こ
秋乃春ものとも月ものとも
ものもの秋の白月むもびくこ三白と
そこあくこれもうおふ月出こ
びうこ花ふしび出こ花引こ花
引こ花の裏十三白こりおふ袖お
白ものこ時花の白殺ものくこ
こいふ文こび出こ花こおふ春の春
こび出こそむこび三白こちふ花こ
ものこ殺いこものこ月こ花こ独吟
こくこうこかこび産ふのこ
こ乃こ白ぬ法ものこ産月家西こ
ふこ乃こ白ぬ法ものこ
ものこ白ぬこ
二乃春　十三白の殺月の産むおく
これこうこ
二乃裏十白　袖裏十白の法月お
二乃裏裏　右月お
産袖乃表十白月裏八白こ
産袖乃裏ふ月いこ七白めこ花乃

宮こ産かり白しのおもてく別して
豊歳乃花と拳白まえを摩の接
授と用おえやうふるこ物ひ乃
花乃白ようこ拾とをべ

七 奇仙乃仕様

奇仙桃猪といふ乃面六白うう
十二白為物猪ようく十二白うう六白に
て以と三十六白かり月為乃度裏
十一白め花面ふ白めり月の宮産の長
六白ふ月せと百数乃名物乃うう
しい月おこ
いかへ連奇ふ三の乃乃漬の名と
三十六人白ように三の乃く仕三ようの例
ふく桃猪ふとそ名をいに
て数ぐう三十六白ふもるあり

八 四十四乃仕様

四十四桃猪とふ六百数の法と和
打と名物乃うしと二数ふく
二三乃打とおさうるこ百数乃法

九 意乃法

意の海。意の湖。意の海。意家。意
ん。意ぐ意。意の宝箱。意るま
思 海の湖。湖の湖。湖の川。意い
れぬの湖。湖の湖。湖の川。湖の山
湖 湖の海。湖の湖。秋葉山。湖川湖の湖
神の海。湖の海。神の湖。神の湖
神の海。湖の海。神の湖。神の家。神の海
神の海。湖の海。神の湖。神の湖。
情 清情。清情。清情。清情。
傾城 白拍子。拍子。拍子。拍子。
うれ女。うれめ。ぱう見人ハせう
がちあれ女。ぱう見人ハせう
くらん。いろ里。ら町。傾系。古系。ちり
どろ町。ち海。彩町。未辻。鳴川
長海のの山。ぱるさ人へる傾城の名
昔意。意。意。意。下の宝。ぐ代おわ
傾城町。ぱ不。ぱまるせく意ふ。ず
白拍子ふるべ。ぱあぐり。紋用ふ人ぐ
ぱあげ。ふろ。やりよ。付ぐ。ぱ人
たつ。あげ意。思びあ意。加わ意

ふるーわこ丸。そのせ世ふるんてあれ丸ら枕
町乃河ふる　　野部　この年ぬよ
丸ふるべー　　寅ふる丸
川竹のふる丸。げまま。藤ふる丸　ふる丸　ちふる丸
ゆどいつらいぬまーかーしば　　町ふる丸
姫　紅おのんふる丸ふるーしば　　妬入
やさ姫。ふる姫。伊達ぬどこ
舞入　姫とどーらり舞と　　妻ちひ入
ゆ丸ふる丸ぬどー　　髪さらり女
ゆやさ女。どそ女。ゆどらこと付く丸ふる
丸く　ゆ川云　かくひ云　さくめ云
百伽羅　独のふるーり者。ごめ者　日ろん
枕ゆーふる　　枕毛炉。ふさー者
二ら枕。から丸枕。ふひ称
長枕。彩枕　ひろら称
夢　夏の情。夏ふ　ほる夏。夏ゆ丸ふる。ふて丸象　門立
永玉事　ゆふこ　ちらいふこ　契りちふの
恨ゆのふる。恨ふ

いつゆちどう。流ちどう。絹糸　伊達
どそ丸だそ人　　人目。人目の実。人目
ゆどーふる
ふるぶ　祇と祇ふる　祇紙の紙へ
丸ふる丸ふる丸ふる

[illegible]の附　白はくしゃう　孤見

[illegible]　にうしゃうけ　坊主家　ひじ山家

[illegible]　出家　いかい主　奇の羽

[illegible]　俳諧　[illegible]

[illegible]

[illegible]

社殿 御供所 返橋 石のそり橋 苔のそり橋

祢宜 かんかぶ 社人 市姫 社司 社司 社務 社中 社僧 伊勢 大夫 師 太夫

女人 祢子 祭主 おつぼ 祢宜山 入祢宜川

ひか伊勢山田の時 白ぐち 結祢宜 祢宜方

御殿 三月 祢宜人 祢宜人 祢宜人 祢宜代

ゆごーのそーく 宮祢宜 御湯立

川やーろ

祭 祢宜 祢宜 祢宜 石鹿 石鹿 御鹿

祢宜紙 祢宜 祢宜 祢宜 祢宜 祢宜 祢宜

かぐらだ 祢宜 拝 三作 長

御注連引 御幣 大はさ

釋奠乃祠

寺 仏寺 墨 山 雲乃 坊 山 古 奥 奥 奥

聖人上人 和尚 禅師 高僧 高僧 尊者 義士 典主 書記
行業 阿闍梨 法師 傍心 傍証 法師
説服 法師 接 接 頌号
ひか傍宗有くふかくこたり
皆天義し経論の名みを皆人書
つよびらうにあさず

○ 述懐乃和

前世の罪業のがれ 世世ともうあくふ
新まふ
墨染の神 世世のがれ 世世ともうあくふ
於人 願成 願成 大方 仏法 新
神祭り 免合 牡人 寡人
病苦乃さはかいろくあらんそ
述懐 述懐乃和さ
勇の様にうにより 述懐
むくろ人乃さそうたん
人いまそ様ねうの 述懐
むくの人乃世界 世界於あく
そひ人も世界 世界
乃れろ人もろ
よしふろ人乃ふ
又ふ乃かさとそ
かること云つ人のそふいそ
我や人乃ろひ出ん
切りふそうれふ
これろ乃ないかふ
むそり ふ乃かさ
どうねとうしひろの
中とかるこふ乃
程こふんとけくもと
ふれがあるふかそ
ろふたりあり

○ 哀傷

紀野の 玉帝の 紀野 かろうれろ 古歌
おくたれ 古歌 安常

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紙地のみよい片こまて紙名脇
い面さしうん出ミ名のやうに紙
地乃みゝ耳ふ三字よい面と地を
いつるもあるべし

紙地乃みゝ字いはさまちうゝみ字と
て色ゆゝされいゝ文字ゆゝて云事色
紙一枚白ふゝうゝ何ゝて色無
ゝうりとゝうゝうゝいゝ山抽の象
白ふゝゝうゝゝゝゝゝたいゝふゝ浪
る抽ゝり特ゝ山奥ゝうゝくゝ
ゝべし紙いゝふゝこれよゝうゝゝ
一字高部二字高部三字高以下百数の
紙結中はゝうゝべゝうゝゝ

十四 和漢乃ゝ

大ゝゝ紙猶乃浪と出ゝくゝかゝりゝ組
和漢ゝゝれゝ白と出ゝ

漢乃対ゝ白云白ゝ白ふ可及事
和漢ふ迎ゝゝ
来抽ゝ字ふふ負抽ゝ

仮和の字ふ出ゝ出ゝ漢ゝ
異条用ゝゝもゝ出ゝ二白ゝ抽
い一づゝゝ

入歌乃字ふ出ゝ奇の法ゝ
いゝゝゝゝゝゝゝ和漢ゝ条白
乃ゝふ出ゝ出ゝゝゝ和漢ゝ
と漢ゝゝゝゝゝ和漢ゝ字
和と用ゝゝ和漢ゝ
と用べし漢和と
歌ゝり

○白数乃ゝ

美秋い三白ゝゝ白ゝ
交ゝ祇祇尺義接 西橋 山
ゝ色 居不 和ゝ
ゝかゝ又三白ゝ
ゝい二白ゝ能ゝ白
人倫 京都 結抽 注新 国
乃居 条不 合抽 蔵 紙接
問ゝふ一白ゝ三白

あげる 表装する 一句 ものくさい あけ
ど 二句 ぢぐ くつ

十三 人倫分

職人 職人 職人 付合 六尺 花のあり 伯乗 番頭 ぐちり
だんた 表装 表装 山繭 海繭 ねと人
もんべ 芋州 人倫 かこへ 飛脚 人倫 蜜蜂 かみ
ゆい 蜜蜂 蜜蜂 蜜蜂 蜜蜂 蜜蜂 蜜蜂 蜜蜂 蜜蜂
作人 こぜ 作人 作人 作人 作人 作人 作人 作人
芋州 月乃あり 月乃あり 月乃あり 月乃あり 月乃あり
尼 放生 放生 放生 放生 放生 放生 放生 放生
命 命 命 命 命 命 命 命 命
大夫 大夫 大夫 大夫 大夫 大夫 大夫 大夫 大夫
ひとり ひとり ひとり ひとり ひとり ひとり ひとり ひとり ひとり

もぞれ。さゝみ。ぶれぬの

山類部の分　山岑。嶺。岳。洞。沮。る根。坂。谷。滝。礫。

在上　同用の分　酒。炭。竈。

葉

山類の分　山。峯。雲。あゝ坂乃見。白川の雲。はぐらの雲。

山滝れる。松滝。小滝。山桜の花。山人

山滝。山姫。つら形。うづ〻きの岩。

久米滝のこと。富士。浅弓。酒川

此山類分　滝。淡滝。三滝。滝田

川滝。ぐら滝。ぐらの川滝。ぐらぐ

岑。ぐらぐら。山川。ぐら川。もぐら川

三田川。滝洲川。岩科の岑。ゑ砂松。

古雪。ようの奥。小野の坂。ふるさ

の奥。ぞうれ雪。木ゝ坂。ぐらら。

小袖。山の崖。炭焼。影。仙人。猿

汎本岩橋。ぐらぶ滝。ひひろ

水部部の分　海。浦。漆。滝。丁。

川。滝。堤。滝。浪。波。法。

升　古升　ゝゝ升　海

乃名部用の分　乃名部　浮渡　雨伽塩　うか

こゝりひひろ

乃名部採用の分　松浦　浮渡　揃　橋姫

源　幡　怪焼　乃名部　魚　紙　奥

下　極　海苔　海士　蛸壺　澤蘭

発　糸布の花

乃名部乃分　佐古祢浦　ゝゝ

三滝　揚列　小滝　松滝　橋姫　田村

志賀の松　沖撥　清く　月の出

雑波津　三滝　滝

此乃名部分　天乃浮橋　爰の浮橋

苗代　異うけひ　横川　三滝川　滝川

雑波古　志賀

佐古　大井　沢ゝの三池　明石乃浦

松浦姫　あづま　白川の雲　鴨

水乃玉あり月のあり 砥のあり 水あり
布さらし 宝乃八橋 霧の海 河の
海 秀の海 名花 小男鹿 萩
さをしか 浪

十四 夜分乃部

ぬばたまの。夜分乃部。あけぬれば。暮れぬるものを。
ぬばたまの。夜分乃部。よこもを云。夜乃部乃
秀。あけて。別れぬるものを。
ぬばたまの。夜分乃部。
ぬばたまの。夜分乃部。
ぬばたまの。夜分乃部

ゐゐ桶。大ぶく。蓬萊かざり
みざかり。かどのこ。四つくりたりくみ
そくま。かまま。そくあり 赤豆兎ニアリ
ふくりくと炭。ふくさうくさうくさうくさう。ぞてう
袖ぞそう。ぶくく。玉ゐ茶ぞきりこ
そくひつく。やりそくふ。於元のこ
於元板。くこ板。破魔弓。くこ板矢
そくこう引。ゐくくめ。るのりぞめ
きそそくくめいねきそひあり
乃ふ 初義。去年。今年。旧年
あり
くひの年。ゐこ年。唐ひくこ
松くやく。まろ弱。方寸ふ 諸行の節ふの
ゐたる餅
香追。地こぐり 元日の夜と 俗三の寸紀と
いくひつ。いひあぐり。 仙三の寸紀と
けさくゐ。桃茅 桃板 桃梗
仙木 神茶 鬱壘 桃の木のれお神茶の
鬱壘の二神とさて
うふくりあり
初子日乃松。小松引。
七草。ゐりか。くこぐ。せり。まな。
ぶぐやく。ぶぐ。ぶぐ。ぶぐ

陰雪。木の目ぬけ　くさくら。
菜花。菜の花。新菜。初菜　ちがそば。あたのさう。梅。きつけ花
匂ひ菜。春菜。冬瓜梅。冬瓜梅。
蹴鞠。鞠乃かしら　柳　ちやうぶ
風呂入。川そひ　ひの花。同ぢりやあれ
そこ抑　ちまき　鶯。白ひ者。金衣
者。者の琴。笛　拍子あり
さか姫　三月　春雨。ちらく。ちらく
春こうる。あぬ　梅ぐえいこう。　春抑うこう。大祈う
梅ぐえいこう。　春の雨。　三月
こう。松の花。　能　三月　雲の衣
十えう花。　雲のあと　うぐ　家
能美　山桜の花。　雲の間　仙境
美の美　美の美
あまのり。　ちさ〳〵ぐさ　拾月
二月　小麦生月
加　日　月祭　中のお勅使　宮月八日
佛　日　月　月　月

初摘　茶摘　うぐひす摘　はぎ摘　苗代
菜　燒野　山と燒　芝と燒　もぐろ
乃落　畑燒　畑ゑと　畑うち　苗代
みはの祭　菖蒲ふき　菖蒲葺　種まく
麻まく　うぐひす　ふいわつくくし
筆川　まゆ　扶桑　海棠　さいたつ
柳の芽と云　茶摘中旬　茶摘うぐひす　茶のこゑ
茶摘　うぐひす　こゑび　角くむ所
苦菜　あんず　つぼみ　わさみ
苦雑　沢ちさ　川ちさ　海雲　紙漉
いろのがり　文たこえそう

三月　弥生　花月　桃月　桜月　春月

巳日のうらへ　上巳　病魔とのがれて
曲水の宴　桃花の節会　桃の酒
茶併　ふい名合　柳のうろ　桃花生ル上洲柳
菓闘　金清　茶師ちの賀勝　茶　七日天武天皇の
法花の祭　弥紙宮ふくれ　百五日　仏を推り　故事あり　鞦韆の戯　まゆ仙の戯　名合　久至
栗津祭　水の尾祭　九日やもく八幡
比叡祭　十五　丑生合佛　十四日より　さう
乃天忌　仏十五　千本　北四日まで　祇寺の花の
流茶祭　十八日之流　十九日　さうふあり
五彩供　東ゑ仏法　十九日　嵯峨　嵯
嶋の峯入　大峯入　十日　嶋花の出　中の午日
交らうさ　永き日　延引
ゆく春　春の別り　春の名残
乃漆　春と地　惜　春の名残
乃巣　ちぶと名　雲ふ入る　ゆく名
麦秋　あひふ　のがれ梁
摘貝　摘奥　摘細　ちろ
小鮎　春と鮎　菜よ　紅葉摘
桃　桃　桃　山摘　名あり摘の
花の綿　花乃名　春の名　春の
潮　花の波　花の波　花の名残
茶摘　花車　花蓋　花軍
風流浮　天皇遷事　茶乃高　茶の花
山茶花　地乃浦　茶　名残の春

海棠 うつぎ 紙ぶすまの花
辛夷 こぶし 木蓮 鷲頭
山吹 酴醾花 木瓜の花 沈丁花
木蓮花 石南花 藤方の花 小柴
花 小ぶまり 夜叉揚 ちくさ
仲春の花 唐子の花 揚梅の花 桃の花 柳
乃ゝう 柳の花 楊 梅 つゝじ
薇 薇 薇 ちくさ
菊花 ちくさ 新柴 かき
菜 菜つゝ 彩菜と後用ゆべし ちくさ
あぶま菊 ちくさの菊 揚くさ
九輪草日 七変花 る蘭 或八月
ちびま 金風花 けまん 丁子の
花 肩絡の花 むわくさ いさごり
ちゝぶ竹 あ竹 ぜんまい
ちゝ花 ちゝ花 山吹 衣
うゝさ 沸〻 衣

夏 朱明 昊天

四月 卯月 卯の花月 得多月

わ花 ちゝぶさ 絶摩祭 一日或八 稲荷
祭 神月 山科祭 端 松乃尾祭 酉の日
當麻祭 虻の灌佛 八日 仏生会 紫花
会 五香水 浴佛 日吉祭 申の山王
祭 加茂祭 酉の千因 日 時 さゞ祭 神の
榊ゝる 榊天 天気の会 麦乃秋風
麦秋 麦麦 茶洗茶 ゆゝさゞ
五月茶 名五茶 富茶 花王
ゝゝひ茶 ゝゝひ茶 苦茶 日 茶 日 茶
花乃雫 相 杜乃 かゝよ花 菱茶
二茶茶 菱 ゝゝ 一八
射干 薔薇 紫薇 花 未 蓮花
若葉 地ゝゝ茶 茶引茶 卯の茶
茶楓 茶茶 茶茶の茶 茶ぶ花茶
ゝゝぐ 夏ゝ林 夏木立 新樹
彩緑 木ゝ 茅人茶 花ゝ
榊花の花 松 穀の茶 ゝてまり
乃茶 風ぐ風 ゝ風 白ゝ花
山茸乃花 榎 林の茶 萩 桜 ゝゝ

乃花　橘の実　実橘　竹のまたんか
ちうか　すゞのこ　岩茸　ぬき
菱　道乃尽花　郭公　ほとゝぎす　田長
勧農の鳥　かんこどり　ほとゝぎす
京雀　日さやうく　蝙蝠　蝙蝠
乃ちこの角　ちゑ　鳳仙花　鳳仙花
柳の虫　蚊帳　蚊帳　蚊柱　夕花　蚊
絽　紋　蚊やり　蚊やり　文入　文花
ひらぎ　ぬれ

五月

さつき　月みなと月
たちばな月　仲夏
和歌乃月　拾　わすれつゝ　松の祭
一月　あやめふく　日　内裏　早苗　山城
ちまき　菖蒲　和花　さうぶ酒
菖蒲刀。菓子　ちまき　ちまきの粽
出仕　雑　衣装　又　鞦韆　続命縷
菓子　橘　百合根
餅　菓子。菓子　五月　菓子　橘
芝人　蒲人　艾虎　移国　朝の放す
百合　ところ　仙花　出仕　八日
八日　菖蒲　刀　鎧　鎧　鎧　入
かつ　藤川　布　布　川　海の法。百合
根ゆり　根ゆり　さゆり　さゆり　ゆり。さく
ろの法　ひろの法　ひろの法　さろ
乃法　蓮葉　ひるの法　ひるの法　さろ
地の　ちれ　ちの法　蓮葉　下　ちれ　未橋法
石菖　金花　ちの法　蓮葉の法
ぬんぬん　雲乃　天日　天巻　かさぶれ法
不杜鵑　あやめ　ひめ　おとび　俄ゆり
白ゆり　かりがね　白天の法　ちれさつど
ほうり　桃の法　ちら法　ちゝよ法
山梔の法　青梅　ちら梅　ちんどび　びて
青山桃　乃所　と年行　乃乙女
さつき人　青田　田植　ちら　栗　陸奥
ごぼう　六月　六月　菊　ちゝ　ちゝ
かり　八月　ちり　ちゝ　貴人
ちり人　ちちれ巣　くろ鴨　魚　漬打
水鶏　特川　ちひ　特縄　新　麻の
くさ　お　特　特の巣　水鶏　ち鶏　ち鶏
ひとんれ　ちびく　ちびく　ちびの板
思村　火車

六月　みなつき　風月　結月　常夏月

あくまの月　水無月　水の空　水の宮　水の玉

氷の玉　氷乃切り　氷の節　氷の節　一夜酒　小さけ

乃橋　氷の節　六月朔日　四月朔日　紙屋　長崎

あまの酒　六月朔日　忌月　長崎

三年　天延　津島　清水　尾州　勢田

吉野　いつく　清水　眞土　江戸　山王祭　十四日

産土　清水　日　富士詣　ふじ市

あどうり　六月朔日　清水　清水詣　くら海の

竹切り　日　夜祭　温風　月令　月令

ひとつ　月令

[illegible]　夕立　白雨　驟雨　夕立　清水

あせ　清水　ひとつ　蕃　菊　梅雨

竹取　竹取　人形　雲乃　あらい酒　麻地　ふべ

雲乃　あらい　夜切の茶　茶川　結　奏楽

扇だけ　扇　桃　楊梅　もりつ

百日紅　扇子　石竹　常夏　撫子

蓮　茶菓　茶菓　菱の花

[illegible]　蒔蒔　明日　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

玉響　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

かつら　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]

遅の峯入 七月 白山八月 白山 六月 九月 立春 中元 共に

乃面珍 墨子入 吹の峯入

椿實 六月 孟蒙菌 中元 共に

蕗 みそぎ 根芋 生芋 玉

蓮乃飯 刺鮒 焼鮒

花火 相撲 角力 八幡安居 十五日 八月十五日

十五日 地蔵祭 ちうけ

霧 霧 稲事 稲乃とり 初穂

初穂 月令 茅蜩 風流

萩 糸とぎ 麻唱 おかの萩

萩 葉芝 葉芝 萩 ほらき

ぶせ成 とぐ成の蓋 花梗 おりのひ

ふさ 大子菓 萩 切菓 ちまい

紀 蓋菓 仏蓋 茅師菓 まんぢゅう

けり 俗に死人をとむらふ 蓋世 同じ

菓 ちやうの蓋 やいと 花 ちさ

遅れ 遅れ ぶ 徐氏 桃の実 豆

蕎 蜻蛉 ちのり いがちり 蟋蟀

蕎 蜻蛉 ちのり 蟋蟀 松出

月令 名月 祭の蓋 初穂

八月 月令 秋風月

八月 月令 田雁 秋 絵彩 高

小野細 雨石

土日 いとまき 蛍生去 石蕗

名月 名月 こほの月 芋名

月 小豆月 十曽 豆月 十五日 十六夜

月 立秋の月 七日 長雨の月 十日

月 立秋の月 十九日 月の弓 引法月

弱年 弱年 ちを月の弱 雲雨の弱

佐法の牧の弱年 八院の弱 十五日 十七日 朱雀

近代 八十六日 十七日 八甲斐 十日 八日 上野 延喜式 十三日 ちをの

月の弱 八日 上野 延喜式 十三日 ちをの

弱面張 秋の弱 中元の弱 四月

芙蓉 芙蓉 芙蓉 芙蓉 芙蓉

秋ぐう 山ぶぐう 末摩の蓋 一石 柱 花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
梅和歌　橘和歌　柳和歌　柳乃和歌　[illegible]　柳
櫃　松乃うゝ　松の実　[illegible]　[illegible]
[illegible]　万乃木の実　[illegible]　[illegible]
椎　蓮　楝　蜜楝　金林　九年母
柚　ゆべし　ゆずなし　[illegible]　[illegible]　橘　佛手
榧　まろろ　榲桲　[illegible]　[illegible]
柔　生乃浦和歌
うぐひす　桜の実　榛の実　榛
國ぐり　ひんな　松ま　榛の実　榛
乃実　たまれ実　南天の実　柿
き　[illegible]　山茶花　野山の実　地山
乃柳　うゝ　柿　仏養　わゝの外ゝの
かりき　落ちる　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　龍膽　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　

月の雲　青女　霜降　木の葉　木の実

時雨　木枯　初霜　紅葉　柳枯れて　冬ごもり

木の枯　牡蠣の殼　菊枯れ　菜の花　枇杷の花

山茶花　二十四番紅信仰の歌　牛二頭献　ひとりしの

浦の花　冬ごもり　八月　菜　菜引　麦まく

初雪　初氷　月令　薄氷　月こそ

雪花　綿代　氷魚　子魚

御つけ　鮭　鮭引　奥引　炭焼

鴨　かまくら　炭竈

鶴　鴨　紙子　ねこん　水鳥

衾　紙衾　立冬の後十日以内　雪垣

ちんが　浦安

十一月

霜月　雪見月　神無月

雪見月　中辰　四条祇園　月の糸

月の糸　月の糸　月の糸

山科祭　旨の平野祭　上申　春日祭　日月

中申　吉田祭　中申

霜降　霜月　霜降　霜月

霜降　霜月　霜降　霜月

霜降　霜月　霜降　霜月

十二月 師走 法月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 分類句出來ノ時其内ノ
平字韻ヲ除キテ入韻ノ字ヲ
定ル〻謙譲之漢和ニハ入韻
字ヲ定ル字ハナケレ共常ニ
モテアツカフ正シキ平字ヲ定ヘキ〻
入韻ノ字ニ定ヘキ〻
一 面八句漢四句和四句〻
内漢ノ對句一所有ベシ大
法漢ノ唱句ナレバ八句メハ
和ナリ 和漢ノ時ハ八句漢ナリ
拳句モ此例也和漢ノ時ハ
和ニ韻字ナシ又韻用ルモアリ
一 百句和漢五十句ツヽ也
一 二句ノ多少ハ苦シカラズ
一 花四本 両方二句ツヽ也 隔番
スベシ
一 月和漢共ニ三句五句ツヽキ

苦シカラズ
一 雪四ツ也 和漢ニスベシ一方ニ
苦シカラズ
一 二句ノ物ハ一句ツヽ也其外ニ
異名ナドニテ出ルハ和漢出ダ
一句有ベシ
一 遍字上ノ字バカリヲ嫌フ也
下ハ苦シカラズ
一 五句去七句去ノ物ハ韻字
ニテモツカフヘキ也
一 韻ニ出ザル文字ハ和漢トモニ
遠慮シテ用ベキ也
一 名残ノ裏ハ漢ノ對句ナクテ
モ苦シカラズ
一 漢句ニ同字ヲ嫌フ事ナシ
一 漢句對ノ所ナラハ和ノ方
遠慮スベシ對ノムツカシキ所
ニテハ和ノ方ヒツトツテスベシ

九加此余ハ皆誹諧之法式ヲ用ル

懐紙書式

誹諧之漢和
松茸其比井
穀ゝゝゝゝの
明のゝゝゝの中
柳橋ゝゝれて
釣竿荷来鮫
碁敗盤飛寳
酒酔壁吹虹
ゝゝのゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ

服隔式聯可並通用之

一數量虛押之字過三十句則可再用不可三反同字例重用于人名地名亦可也

一若用熟語則雖五字

一平應許之也余皆連句之例式也

二四不同声ヲスルヿ

下三連禁

天保巳年辛未正月吉日

松琴文庫